

高取町ご意見番 中西宏次 様

ご質問頂いた「高取町総合戦略」について私なりにお答え致します。

この度、高取町と奈良県とのまちづくりに関する包括協定が結ばれました。

大変喜ばしい事です。

長引く不況による将来の不安、国民のライフスタイルの変化で少子化が進む一方医療技術の進歩で高齢化が進んでいます。

東京以外の地方が抱える最重要問題となっており、どうすれば東京一極集中を緩和し地方に活力を取り戻す事が出来るかが課題であります。

個人の生活環境や水準は違いますので仕事があれば居住しても生活できない状況にあり人口を増やすということは簡単ではありません。

そして高取町は民間の賃貸住宅が充実しているとは言えず、若い人達が住みたくても住めないというのが現状です。

子育て施策の充実も子育て世代にとっては重要な問題です。

そして、老後の医療介護の環境も居住地の選択で大きな大きな要因になると考えられます。

その為、高取町に合った ひと・まち・しごと総合戦略プランをたて人口の推移を把握し、高取町に興味を持ってもらい実際に足を運んでもらって、地元住民と交流を持ってもらい高取町に住みたいと感じてもらえるような施策を構築して、総合戦略、新たな雇用創出の為に企業誘致やそれに伴う優遇措置を今後は検討しなければならないと考えます。

この問題は高取町だけの問題ではなく我が国が抱える一番の問題です。

一方で、人口が減るところか増えている自治体があることを重く受け止めなければならないと考えます。

この様な自治体は、目先の利益を考えず20年後、30年後を見据えた自治体運営が功を奏していると考えます。

高取町としまでも国や県の力をお借りして20年後、30年後の町づくりを考えたとで 観光、農業、商業を活かした総合戦略が必要だと考えます。

観光では、高取町の特徴を生かしながらハード面として、高取城跡、壺阪寺、与楽古墳群、土佐街道を活かし、ソフト面としては、高取町役場まちづくり課、観光協会、NPO 法人、商工会議所の皆様と一緒にイベント等で盛り上げて行く事に加えて、高取町を広く周知して頂ける様な発信力が必要だと考えます。

農業では、耕作放棄地を少しでも減らす対策が急務です。

高取ブランドの開発と販路の開拓をする事が重要だと考えます。

商業では、地元の薬品会社に協力を頂き、薬の街高取町という特色を前面に出す様なまちづくりが必要だと考えます。

最後に、交付金や補助金といえども国民の血税であることを忘れることなく20年後、30年後の町政の道しるべになるような施策を考えて行かなければなりません。

新澤良文

